

(NPO法人 スカイラボサポートセンター)

立ち止まり対話するための助成金「AKBN（アケボノ）ファンド」
助成事業報告書

本報告書の提出期限は【 4月30日（火） 】となっています。
報告書は提出後、アカツキ Web サイトにて公開致します。

1. 振り返りエッセイ

AKBN ファンドを活用した「立ち止まり対話する」取り組みについて、
いつ何を行ったか・どのようなことが起きたか・メンバーの誰がどう
発言したか等について、公開できる範囲で自由な形式にて作文してください。
イメージとしては、「エッセイ」のように考えて頂ければと思います。

■枠の大きさは規定のものから変更せず、その中に収まる分量でお願いします。

■必ず、アカツキ同席の「ふりかえり評価」の後に作成してください

スカイラボサポートセンターは、ボランティアスタッフに支えられて任意団体の 2015 年より活動をしてまいりました。現在 NPO 法人としてフードバンク事業・ひとり親支援活動に取り組み、活動は大きくなってきましたが、収益事業ではないため活動が拡大するほどに運営が行き詰まっていく。スタッフも気づけば 50 人程に増えましたが、活動趣旨や事業内容を理解してもらえているのか、スタッフの育成や研修も必要なのではないかと思うようになりました。

今回の取り組みの中で実施したのは、この私達運営サイドの悩みをすべてスタッフに打ち明けることにしました。

子育て中のスタッフが多いので、貸切りでゆっくり食事と会話ができるところで食事会を初めて開催しました。「想いを伝える」ということの必要性を改めて感じる機会となり、大学教員のスタッフが大学との連携体制を構築してくれ 1 月には講演会の開催や学生ボランティアの増員にも繋がりました。

スタッフも増えれば、苦手な人がいたり口調の強い人がいたり、人とのトラブルもあります。月一回程度、活動後に会議の場（お茶会のような）を設けることで、状況把握や改善に繋げて楽しく活動できるように努めました。

そして一番課題だった資金面についても WAM 助成の申請に初チャレンジし、無事採択され活動継続が可能となりました。今後、寄付活動の拡大はもちろんです。クラウドファンディングへのチャレンジもしたいと考えています。

2. 支出報告書

■領収書ほか会計証憑書類の添付、当初予算からの残額の返金は不要です。

■枠の大きさは必要に応じて増減して構いません。

■こちらは「ふりかえり評価」実施前に記入されても構いません。

決算会計報告		
種別	内容	収入金額
<input type="checkbox"/> 本助成金	AKBN ファンD想いと向き合う or 数字と向き合う (選択)	141,000 円
<input type="checkbox"/> その他	自己資金	3,250 円
費目	対象・使途・目的・内訳 (具体的な詳細を記入)	支出金額
<input type="checkbox"/> 人件費	会議費 参加：5名 全6回×2,700円 (1回ひとり)	81,000 円
<input type="checkbox"/> 諸謝金		
<input type="checkbox"/> 賃借料		
<input type="checkbox"/> 会議 (飲食) 費	食事代2回：60,500円 お菓子代：2,750円 ①大人8人・中学生1人・幼児3人 ②大人11人・中学生1人・幼児3人	63,250 円
<input type="checkbox"/> 消耗品費		
<input type="checkbox"/> 旅費交通費		
<input type="checkbox"/> 印刷製本費		
<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 未使用残額		
合計金額		144,250 円

3. 助成プログラムへのフィードバック

■AKBN ファンDに対する評価・疑問・要望・期待等を記載ください。

今回このような機会をいただいたことで、当団体の危機がひとつ乗り越えられたような気がします。理事達が考えるだけではダメなのだなと実感し、たくさんの人達に支えられていることを知ることができました。この度の助成、本当にありがとうございました。